第14回 高大連携教育フォーラム

# いま、なぜ入試改革か？

## ～教育改革のゆくえを探る～

2016年 12/10(土)

9:30–17:30(受付9:00より)

会場 キャンパスプラザ京都
(京都市下京区西洞院通塩小路下ル)

お申込みは裏面をご覧ください

2016 年 3 月 高大接続システム改革会議の「最終報告」により、本格的な入試改革がスタートとなり、国内でも多くの入試改革に関係する会合が開催されている。しかし、中には「入試」に注視するあまり、「受験対策」的な情報提供への期待とテクニックに陥った議論が展開されるケースも散見される。
何を目指してこの入試改革があるのか、そのためにどのような教育が展開され、それが入試方法にどう影響を与えるのか... 高校教育・入試・大学教育の三位一体の改革の方向性を探り、次の教育ビジョンを想定する。

## 第1部 9:30–14:45 講演会 定員200名

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 総合司会 | 京都工芸繊維大学教育研究基盤機構系准教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室 | 山本以和子氏 |
| 9:30- | 開会挨拶 | 京都外大西高等学校校長/京都高大連携研究協議会運営委員長 | 北村　聡氏 |
| 9:35- | 趣旨説明 | 元京都精華大学人文学部教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室 | 筒井洋一氏 |
| 9:45- | 特別講演 | **インクルーシブ社会を生き抜く次世代に必要な力の育成と大人の学び直し** | |
| | | 京都大学 総合博物館准教授 | 塩瀬隆之氏 |
| 11:25- | 講　演 | **高大接続のための入試改革 —京都大学教育学部の特色入試の取り組み—** | |
| | | 京都大学大学院教育学研究科教授 | 楠見　孝氏 |
| | 休　憩 | 12:25-13:25 | |
| 13:25- | 講　演 | **京都工学院高校の挑戦 —教育改革の先を目指して—** | |
| | | 京都市立京都工学院高等学校校長 | 砂田浩彰氏 |
| | | 京都市立京都工学院高等学校教諭 | 有本淳一氏 |
| 14:15- | 総括コメント | **高大接続システム改革の展望** | |
| | | 大谷大学文学部教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室 | 荒瀬克己氏 |

## 第2部 15:15–17:30 分科会 定員各30名

各分科会の詳細につきましては、大学コンソーシアム京都HP(http://www.consortium.or.jp)に随時掲載します。

### 「学校×ICT×社会」でシナジーを起こす学習デザイン
**—越境する学びの仲間と未来を創る—**

コーディネーター兼報告者　筒井洋一氏（元京都精華大学人文学部教授／大学コンソーシアム京都高大連携推進室）
報告者　松嶋　渉氏（山口県立萩商工高等学校教諭）

### これからの時代を生き抜く力を身に付けさせるために
**—教育改革における数学的モデリングの意義—**

コーディネーター　水口博史氏（京都府教育委員会高校教育課指導主事）
報告者　中村啓介氏（京都府立桃山高等学校教諭）
報告者　河崎哲嗣氏（岐阜大学大学院教育学研究科・教育学部准教授）

表現技法 I　数学 II　英語 III　理科 IV

### 英語4技能型大学入試に向けた環境整備と学習指導の方向性

コーディネーター　髙山リサ氏（京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事）
報告者　山本宣生氏（京都市立西京高等学校教諭）
報告者　安木真一氏（京都外国語短期大学キャリア英語科教授）

### 理科教育における「探究」と「アクティブラーニング」—新学習指導要領を見据えて—

コーディネーター　山崎敏昭氏（同志社中学校・高等学校教頭）
報告者　中井咲織氏（立命館宇治中学校・高等学校教諭）
報告者　川内　正氏（大阪大学全学教育推進機構特任教授）

## 情報交換会 18:00–19:30 定員60名

キャンパスプラザ京都2Fホールにて開催いたします。お時間の許す限りご参加ください。

参加費／3,000円

**主催 京都高大連携研究協議会**

京都府教育委員会 / 京都市教育委員会 / 京都府私立中学高等学校連合会 / 京都商工会議所 / 公益財団法人 大学コンソーシアム京都